

2024年5月2日作成 Ver1.2

《情報公開文書》

骨盤位に対する外回転術が成功する因子の検討

研究の概要

【背景】骨盤位(逆子)は全妊娠の3-4%程度と報告されています。日本では骨盤位に対しての経膣分娩は減少傾向にあります。外回転術: External cephalic version (ECV)は骨盤位を頭位に戻し、経膣分娩の可能性が高まり、同時に帝王切開率の低下も期待できます。ECVの成功要因を検討した報告は多数ありますが、主に、経産婦、母体の肥満がない、胎盤が前壁にない、胎児推定体重が2500g以上、羊水量が正常~多め、子宮収縮抑制薬の使用、麻酔の併用などが挙げられています。

【目的】私たちはECVが成功する因子について患者さんの特徴、赤ちゃんや胎盤などの超音波検査所見について検討します。現在までにECV成功のための条件として考えられている条件に加え、臍帯巻絡の有無や胎児の臀部がお母さんの骨盤内に陥入しているかいないかについても成功率が高まるかどうかの要因となるかを検討します。

【意義】本研究により、骨盤位に対するECVがどのような条件により成功しやすいかを抽出することができます。現在まで報告されている因子について再確認するとともに、現在まで報告の少ない臍帯巻絡の有無や胎児臀部の母体骨盤内陥入の有無についても検討することで、より成功しやすい症例を認識することができます。また、成功できる要因を把握することで、対象となる骨盤位の妊婦さんに対して安全性の高い手技を行うことができます。

【方法】2011年1月から2024年12月までの間、当院でECVを施行した妊婦さんを対象とします。患者背景(年齢、経妊経産、ECV時のBMI、ECV施行週数、ECV前の子宮収縮の有無、子宮収縮抑制薬の投与の有無)および超音波検査所見(ECV時の胎児推定体重(EFBW)、母体骨盤内への児の臀部の陥入の有無、最大羊水深度(MVP)、胎盤位置、臍帯巻絡)について診療記録を元に検討します。

対象となる患者さん

2011年1月1日から2024年12月31日までの間、当院でECVを施行した妊婦さんを対象とします。

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- 妊婦さんの情報：年齢、経妊経産、身長、体重、BMI、妊娠週数、子宮収縮の有無
- ECV 施行中に子宮収縮抑制薬を使用したかどうか
- 超音波検査所見：ECV 時の赤ちゃんの推定体重(EFBW)、妊婦さんの骨盤内へ赤ちゃんの臀部(お尻)がはまっているかどうか、最大羊水深度、胎盤の位置、臍帯巻絡の有無
- 有害事象：性器出血の有無、胎児心拍陣痛図もしくは超音波検査を用いた胎児徐脈の有無、超音波検査を用いた胎盤後血腫の有無

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

情報の利用開始予定日

本研究は2025年6月12日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2025年12月31日

研究実施体制

研究責任者	所属：長崎大学病院 産婦人科 氏名：三浦清徳 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095 (819) 7363
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長

問い合わせ先

【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】

長崎大学病院 産婦人科 担当者名 長谷川ゆり

〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号

電話：095 (819) 7363 FAX 095 (819) 7365

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200

受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）